

令和3年度第1回菊川市男女共同参画推進懇話会及び菊川市男女共同参画推進プラン策定委員会の議事録

(1) 第3次菊川市男女共同参画プラン令和2年度進捗状況について、資料1-1、1-2、1-3を説明

(質問) 資料1-2 令和2年度事業進捗状況の評価欄の表記方法について

【委員】資料1-2では、表の中に評価欄とあって、そこに「◎」や「○」、「△」があるのですが、評価というのは、実施してどうであったかというような、事業の成果に帰すものではないかなと思います。それを考えると実施する前と後でどう変わったのかということを示した方が評価になると思いますので、ここは「実施状況」という形で示しておいた方がいいと思います。評価をするならば、別の場所に評価欄を設けたらどうかと思います。

例えば、説明はまだですが、資料2-1の子どもの感想を見てみると、講話を聞く前と聞いた後でこう変わりましたと書いてあります。このように、やる前とやった後で、意識が変わっているのは、大きな成果だったと思います。これらが評価に値すると思います。こういうことを評価として掲載したらよいと思います。何回やったかというのも大事だと思うのですが、実施した内容がどうであったかという形の方が、実施した意義が目に見える形になるのではないかと思います。

(回答)

【事務局】おっしゃるとおり、ここは評価欄というよりは、実施状況で、「◎」、「○」、「△」という表示になっていますので、ここは、「実施状況」という形にすべきとおっしゃっています。第3次プランについては、この形で作成しておりますので、第4次プランの実績報告をする際には、ここの表記方法やさっきおっしゃった評価方法について、もう一度考えたいと思っています。ここには、細かい一つ一つの事業をどういうふうに進めてきたかが書いてあります。この一つ一つの事業レベルで評価をするのは、難しい部分もあるかもしれませんので、基本目標や基本施策のようなレベルでの評価の方がよいかもしれません。それも含めて少し検討させていただきたいと思っています。ありがとうございます。

(質問) ID29の「要保護児童対策地域協議会を通じた情報交換会」について

【委員】最近、「相対的貧困が7人に1人いる」とラジオなどで聞きまして、学校給食以外で満足に食事をとれていない子どもがいると聞きました。私事ですが、地域のコミュニティセンターの方たちと、いつか子ども食堂をやりたいと話しました。菊川市においてもそのような子どもたちがどのくらいいるのかと気になりました。ここでいう「要保護児童」というのは、そのような子どものことをいうのでしょうか。

(回答)

【事務局】ここの対策協議会の全ての中身まで確認はしていませんが、就学前のお子さんなどの関係者が集まって、協議をしている会議ということは聞いています。いろんなケースのお子さんがあると思いますので、そういったケースに応じてどういう対応をするかを検討している協議会だと思います。また、先ほどおっしゃったような子ども食堂について、似たものとして、「だれでも食堂」という取り組みを西方地区で行って

います。配慮が要する子どもたちだけではなく、どなたでも、自由にご飯を食べに来ることができるという形です。ただその中に家で十分にごはんを食べることができないお子さんもいるかもしれません。しかしその子だけでなく、みんなで食べる機会としてそういう子たちも入ることができるような取り組みをさせていただいている団体です。また、直接的にその団体に配慮が必要な人を教えることはできないので、それは社会福祉協議会や市役所担当課から、チラシを渡してもらうなど協力をお願いしたいと考えています。

【事務局】補足ですけれども、「要保護児童」には2段階ございまして、DVを受けているや貧困など、すぐに監視を開始していかなければいけない子どもの情報共有や情報交換というのが、まずはそれが第一優先にあります。その次の段階で、今後保護しなければならない可能性のある子どもが挙げられます。このように2段階に分けて、皆さんで情報を共有して、見守っていこうというのが要保護児童協議会で協議しているような内容になっています。

(質問) 要保護児童協議会で協議する子どもたちの情報源について

【委員】今のことで一点質問させていただきます。そのような状況にある家庭がわかるものなのですか。どこから情報が分かるのでしょうか。学校なのでしょうか。

(回答等)

【委員】学校、小児科の先生、警察、児童相談所、地域の就任児童員の皆さんで、協議をし、地域の中で発見される場合もあります。また、要保護児童に対し、虐待や夫婦喧嘩、DV、経済的に困難に陥っている、学校に行けない子どもたち、など困っている子どもたちをみんなで作り上げていこうと、関係者で協議しながら進めていき、月に1度会議を行っています。

【委員】男女共同参画って国の施策だと、はじめに始まったきっかけが、労働者不足解消や少子化対策のためでしたが、一番大事なことは、「人権」のはずです。今回のような子どもたちに関して、「男女共同参画ではない」ではなく、人権のことですので、大切なことだと思います。なぜ育てられるのかと考える人がたくさんいる方がいいですから。私は、そのようなことを菊川市で行われていることを知らなかったです。まず、それに力入れて市も取り組んでいただきと思います。

【事務局】見守らないといけない子どもを発見したら、まず、その関係者同士で情報共有した中で、どのように対応しているかを協議していきます。そのため、学校、家庭児童相談室や自治会からなど、そのような疑いがある子どもの情報が入ってきたら、協議へ移すためのネットワークが常にあります。緊急的に協議する場合があります。定例的に関係部署が集まって協議する場合があります。このようなものが要保護児童協議会です。

(2) 令和3年度男女共同参画事業について、資料2-1、2-2、2-3、2-4、2-5を事務局が説明

(質問) 講演会の講師等について

【委員】5月8日にアエル行ったら、中止だったので、残念だったのですが、こういう市民が興味を持つような講演会、例えば、有名な人を招いた講演会などをやった方がいいなと思います。以上です。

(回答)

【事務局】 講演会については、実施に向けて、調整しているということです。

(3) 第4次菊川市男女共同参画プランの策定について、資料3-1、3-2、3-3、3-4、3-5、3-6を事務局が説明

(質問) コロナ禍の個別事業の進め方について

【委員】 様々な目標に向かって事業を進めてくださっていると思うのですが、コロナ禍なので、講演会など思うように進まなかった部分があったと思います。このような状況は、あと数年は続くと思いますので、講演会等が開催できないとしても、それを補う対策をしていくことが大切だと思います。例えば、録画したものをホームページに掲載するなど対応することにより、事業自体が進んでいくと思います。以上です。

(回答)

【事務局】 今おっしゃっていただいたとおりと思っています。今回の策定にも、新型コロナウイルスの影響や新しい生活様式に沿った取り組みを行政として、男女共同参画参画に限らず取り組んでいくべきかと思っています。そのような視点も含めて、各課の事業を考えていきたいと思っています。

(質問) プラン策定スケジュールについて

【委員】 今回の会議から、プラン策定に入っていくのですが、スケジュールは間に合うかどうか気になりました。いかがでしょうか。

(回答)

【事務局】 当然ですけれども、間に合わないスケジュールとは考えていません。今回いただいた意見を基に、庁内の各課には、第3次プランで取り組んできたことなどの評価を含めて、確認していきたいと思っています。本日1回目の庁内担当者会議を開催しました。今後、すべての対象の課を回って、ヒアリング形式で、事業を検討していきたいと思っています。その上で、事業を積み重ねてプランを策定していく予定です。これからやることはたくさんありますが、この計画どおり進めていきたいと考えているところです。

(質問) 審議会等への女性登用率が上がらない原因について

【委員】 いつも評価が低いのが、審議会の女性登用率です。この原因を掘り下げたことがありますか。漠然な話をしても申し訳ないので、私は、「とにかく負担をこれ以上かけないでくれ」という女性の意見だと思います。なぜ負担がかかるか。以前、防災委員をやったのですが、毎月定期的に出席したり、講演会も参加したりなど、負担がありました。では、その負担をどうするかなど、もう少し考えるような形にしないとまず目標の達成は無理です。どうでしょうか。それが、プランというチェックアクションなのでしょうけれども、プラン策定し、終わってチェックします。その後、原因を掘り下げていません。毎回同じなのです。だからプランの表紙は綺麗に出来るけど、中身が伴っていません。一点に絞って、今回は、「審議会の女性登用」だけです。何が原因かを掘り下げてください。私の意見としては、負担が多い。では、どうするかという原因を掘り下げ、初めて「○」になると思います。これにいつまでも「×」にしているのをやっているのかって僕らもなってしまうので、それだけお願いします。

(回答)

【事務局】 私たちも同じことを思っていて、2次プラン、3次プランと今まで取り組んできていますけど、国も含めて自治会長や審議会の女性登用率が上がってきていない状況です。近年、自治会長に限らず自治会に対して行政からお願いしている役は様々で、負担が増えてきています。これは、男女共同参画の視点だけではなくて、庁内各部署で、取り組まないといけないところが、今おっしゃられたところの負担軽減です。それは市長からも指示が出ていますので、まず負担軽減に取り組む必要があることが前段にあります。その上で、個別の審議会への女性登用率に関しましては、地域支援課として各課が所管する会議の女性委員を登用していただきと投げかけをしてきたのですが、それ以上のことができてなかったと思っています。各課が所管する審議会の委員には、充て職で入っているところが多くあります。地域の中の委員会で男性が多いと、選出される方も男性が多くなります。そのような状況に対し、一歩踏み込んだこともしないといけないと感じています。防災委員や自治会長の選出には、昔から地域の中で決まった順番がある場合が多く、すぐにそれを変えるということがなかなか難しいと感じています。ただ、さきほどおっしゃっていた前段として、男性だろうが、女性だろうが、負担なくできるような体系を作っていかなければならないと感じているので、各課にて取り組むこととして進めてまいります。

<資料3-6 第4次菊川市男女共同参画推進プラン骨子(たたき台)の「1計画の目指すべき姿(基本理念)」について>

【事務局】 先ほど説明しました第4次プランの目指すべき姿、基本理念に関しましては、次回までに、事務局案を出して、皆さんにご意見をいただきたいと思っています。ここに書いてあるように、何か思いつく言葉やキーワードやご意見など、いかがでしょうか。

【アドバイザー】

「女と男」で「人と人」と示してある第3次プランがとても素敵だなと思います。考えられて練られて作られたと思います。その上で、やっぱり「LGBTQ」などの「多様な」というところが社会的にも認められているので、このあたりをどういう言葉で表現するかが、ポイントだと思います。このままでもいいし、菊川市としてどのようにするのがポイントになるのではないかと思います。基本理念は、一番の見出しになると思います。

また、計画のイメージ図について、これは個人の意見ですけれども、男性が地域に出るという矢印が必要かなと思っています。そこで先ほどの女性の負担が軽減されるかなと思います。男性が地域や家庭に進出することにより、女性がいろんな場面でもっと自由に動けるかなという要素も出てくると思います。

もう一点が、基本目標・基本施策について、第3次と第4次プランを比べているものなのですが、気になるのが、防災について安全安心ではなく、地域・職場・家庭の実現というところに組み込まれているのは何か意図があるのでしょうか。イメージでは、防災は安全・安心かなと思います。考えていく上で、投げ掛けておきたいと思います。

「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をあまり聞かなくなってきました。「ライフ・ワーク・シナジー」とか「共創」とか「共鳴」とか、そういう響き合うとかが出ており、「バランスをとる」よりは、「うまくやっていく」などと変わってきています。

「ワーク・ライフ・バランス」では、ワークが先についての議論出ています。踏み込みすぎかもしれないのですが、一つポイントになるかなと思いますので、つけ加えさせていただきます。

【事務局】防災についてですが、地域の中のということで位置づけて、こちらに入れていきます。おっしゃるとおり、安全の中にも入ってくると思いますので、今後、事業の内容を見ながら、どちらかに組み込むかを検討していきたいと思います。

【事務局】この素案作ったときに、私も同じ意見で、安全安心の中ではないかという話をしました。今後、事業を見ながら相談しております。他に御意見ありますでしょうか。

【委員】私が事前にいただいた資料から感じたことなのですが、女（ひと）と男（ひと）というのは、とてもいいと思うのですが、漢字では、「女」と「男」となっているので限られたジェンダーを表現する感じが少しするのかなと思いました。政府でも「男女共同参画」の「男女」と書いているのでこれはこれでいい気もするのですが、少し、その辺に迷いを感じます。他の自治体の基本理念を見るとやはり、「男女」と使うことを避けつつある傾向にあるような気がします。また、LGBTQという言葉も今、変わってきていて、性指向とか、性の認知、性自認などと言い方が変わってきています。そういうことを総合するとやっぱり「男女」というよりも、「誰もが互いを尊重するとか認める」とか、あるいは「多様性を尊重する」とかが良いと思います。菊川市は外国人の人口比率も高く、多文化共生社会を目指しているため、そういう意味でも、「多様性」という言葉をキーワードにするのはどうかと家で資料を見て感じました。それからやはり「男（ひと）と女（ひと）」が、「男」と「女」となっているように、性を限定するのではなく「誰もが」とか「ジェンダー」という言葉もいいかもしれないです。「ジェンダー」という言葉にはいろいろな意味が入っていますが、性を限定しないものにした方がよいのかという感じもしました。キーワードとしては、「多様性」などを入れるべきで、「男女」という字を避けた方がよいです。「尊重する」という言葉もあった方がよいかなと感じました。意見として、聞いていただければと思います。